

狛江駅南口周辺地区 市街地総合再生基本計画 庁内検討委員会の設置について

■地区の概要と現況

狛江駅周辺におけるまちづくりとして、北口駅前では平成初期の再開発事業によって都市機能が整備されてる一方で、南口駅前では大きな機能更新は行われておらず、狭隘道路の多さやにぎわいの不足など、様々な課題を抱えた状況が長く続いてきました。

しかし、南口周辺では、数年前より地元住民によって再開発事業を見据えた検討組織が活動をはじめ、まちづくりの機運が高まってきている状況にあります。



図 狛江駅南口周辺地区

■都市計画マスタープラン・立地適正化計画上の位置づけ

狛江市都市計画マスタープラン・立地適正化計画（令和4年12月）では、狛江駅周辺を「中心拠点」「都市機能誘導区域」として位置づけました。また、狛江駅南口周辺については、まちづくりの方針として、「地元まちづくり協議会（※）と連携した南口周辺のまちづくり上の課題整理と解決のための事業手法の研究」をすることとしています。

（※）当地区では、令和3年に地元住民を中心とした地元まちづくり協議会が認定され、住民視点でのまちづくりの検討を進めています。



図 都市計画マスタープラン・立地適正化計画（抜粋）

■市における基本計画の検討、庁内検討委員会の設置

これらの状況・上位計画を踏まえ、市では本年度、狛江駅南口周辺地区における市街地総合再生基本計画の策定に向けた検討を開始しました（「狛江駅南口周辺地区市街地総合再生基本計画作成委託」）。

令和7年度における計画策定を目指し、本年度においては地区の現況・課題の整理、まちづくりの方針や土地利用のゾーニングを検討します。次年度以降、令和6年度は市民意見を聴取しながら計画の素案を作成し、令和7年度は基本計画を取りまとめ、策定する予定です。

この基本計画の策定に向け、庁内における合意形成や、市の既存計画との調整などを図るため、狛江駅南口周辺地区市街地総合再生基本計画 庁内検討委員会を設置したいと考えます。

地区まちづくり協議会をはじめとした地権者等とも適宜情報を共有しながら、市として目指すべきまちの形を検討していきます。

■スケジュール

令和5年10月下旬 第1回庁内検討委員会の開催（予定）